【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【公開番号】特開2015-170017(P2015-170017A)
【公開日】平成27年9月28日(2015.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2015-060
【出願番号】特願2014-42866(P2014-42866)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｆ　12/16　　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/16　　３１０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成29年3月2日(2017.3.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ジョブから生成される画像データを処理する画像形成装置であって、
書換え回数に応じてデータ保持期間が短縮されうる半導体メモリである不揮発性メモリと、
前記不揮発性メモリから使用状態を特定する属性情報を取得する取得手段と、
前記取得手段が取得した属性情報に基づいてデータ保持期間を特定する特定手段と、
前記特定手段が特定したデータ保持期間が所定のしきい値を超えているかどうかを判断する判断手段と、
特定したデータ保持期間が所定のしきい値を超えていると判断した場合、前記画像データを前記不揮発性メモリに一時保存させないように前記ジョブを制御し、
特定したデータ保持期間が所定のしきい値を超えていないと判断した場合、前記画像データを前記不揮発性メモリに一時保存させるように前記ジョブを制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記取得手段は、前記画像形成装置に電源投入がなされることに応じて、前記不揮発性メモリから前記書換え回数を取得することを特徴とする請求項１記載の画像形成装置。
【請求項３】
ジョブから生成される画像データを処理する画像形成装置であって、
書換回数に応じてデータ保持期間が短縮されうる半導体メモリである不揮発性メモリと、
前記不揮発性メモリから使用状態を特定する属性情報を取得する取得手段と、
前記取得手段が取得した属性情報に基づいてデータ保持期間を特定する特定手段と、
特定したデータ保持期間に応じて、前記画像データを前記不揮発性メモリにおいて保存する期間を制限して保存するように制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする画像形成装置。
【請求項４】
前記制御手段は、特定の領域に対して制限された期間を表示手段に表示することを特徴とする請求項３記載の画像形成装置。
【請求項５】

前記属性情報は、前記不揮発性メモリの書換回数であることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項６】
不揮発性メモリは、ソリッド・ステート・ドライブであることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項７】
書換え回数に応じてデータ保持期間が短縮されうる半導体メモリである不揮発性メモリを用いてジョブから生成される画像データを処理する画像形成装置の制御方法であって、
前記不揮発性メモリから使用状態を特定する属性情報を取得する取得工程と、
前記取得工程で取得した属性情報に基づいてデータ保持期間を特定する特定工程と、
前記特定工程で特定したデータ保持期間が所定のしきい値を超えているかどうかを判断する判断工程と、
前記特定工程により特定されたデータ保持期間が所定のしきい値を超えていると判断した場合、前記画像データを前記不揮発性メモリに一時保存させないように前記ジョブを制御し、
前記特定工程により特定されたデータ保持期間が所定のしきい値を超えていないと判断した場合、前記画像データを前記不揮発性メモリに一時保存させるように前記ジョブを制御する制御工程と、
を備えることを特徴とする画像形成装置の制御方法。
【請求項８】
書換え回数に応じてデータ保持期間が短縮されうる半導体メモリである不揮発性メモリを用いてジョブから生成される画像データを処理する画像形成装置の制御方法であって、
前記不揮発性メモリから使用状態を特定する属性情報を取得する取得工程と、
前記取得工程が取得した属性情報に基づいてデータ保持期間を特定する特定工程と、前記特定工程により特定されたデータ保持期間に応じて、前記画像データを前記不揮発性メモリにおいて保存する期間を制限して保存するように制御する制御工程と、
を備えることを特徴とする画像形成装置の制御方法。
【請求項９】
請求項７または８に記載の画像形成装置の制御方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。